DAIKIN

パッケージエアコン 新冷媒(R32)シリーズ 取扱説明書

スカイエア

空冷ヒートポンプエアコン
≪セパレート形≫

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
  正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
  お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室外ユニット専用ですので、室内ユニット付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。

室外ユニット

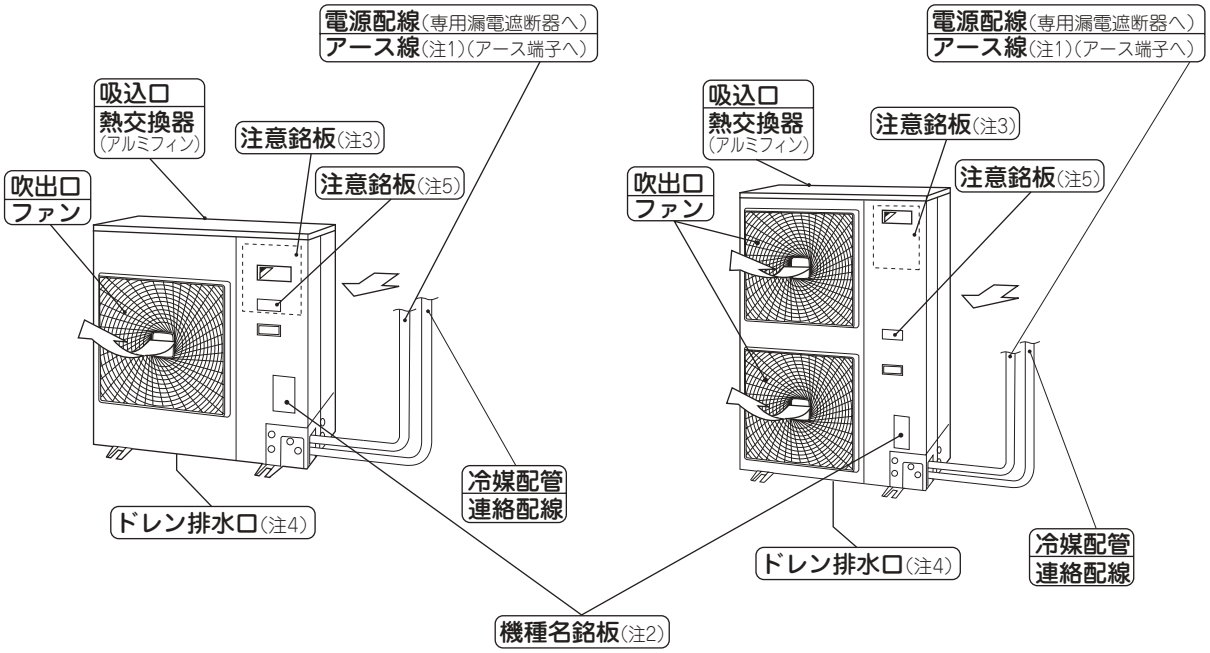
FIVE STAR ZEAS 冷暖房兼用形

RSRP80BBV(E)(H)
RSRP80BBT(E)(H)
RSRP112BB(E)(H)
RSRP140BB(E)(H)
RSRP160BB(E)(H)

Eco ZEAS 冷暖房兼用形

RZRP112BB(E)(H)
RZRP140BB(E)(H)
RZRP160BB(E)(H)

各部の名前と働き



(注1) アース線は、万一の感電・火災防止のため室外ユニットから大地へ電気を逃がす線です。

(注2) 工場出荷時の冷媒量と使用している冷媒のGWP(地球温暖化係数)が記載されています。

(注3) 据付状態により追加充てんまたは再充てんされた冷媒量が記載されています。

(注4) 暖房運転時、室外ユニットから出た水を排出します。(底面後方)

(注5) 指定冷媒以外の封入・混入に関する注意事項が記載されています。

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

🛇	絶対にしないでください。	🚫	絶対に水にぬらさないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。	⏚	必ずアース工事をしてください。

⚠警告 使用上の注意事項

●吸込口や吹出口に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。
禁止

●分解や改造・修理をしない
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。
禁止

●移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。
禁止

●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。
禁止

●電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない
火災や水漏れの原因になります。
また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。
禁止

●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。
禁止

●別売品の取付けは自分でしない
別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。
(4ページ参照)
禁止

●異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。

●洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買い上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

●室内・室外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店に依頼する
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。

⚠注意 使用上の注意事項

●室外ユニットの吹出口を取り外さない
高速で回転するファンにより、けがの原因になることがあります。
禁止

●室外ユニットの上に乗ったり物を載せたりしない
落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。
禁止

●動植物に風を直接当てない
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。
禁止

●室内・室外ユニットの吸込口・吹出口やアルミフィンにさわらない
けがの原因になることがあります。
禁止

●室内・室外ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない
運転条件によっては、本体や冷媒配管への結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口の詰りで水が滴下し、家財などをぬらす原因になることがあります。
禁止

●吹出口の近くにスプレー缶などを置かない
室内・室外ユニットからの温風によりスプレー缶などが爆発するおそれがあります。
禁止

●吸込口や吹出口をふさがない
能力低下や故障の原因になることがあります。
禁止

●本体やリモコンで遊ばせない
誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。
禁止

●室外ユニットの周辺に物を置いたり、落ち葉をためない
落ち葉などから侵入した小動物が、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
禁止

●焦げ臭い場合や、お手入れ、点検時以外は電源ブレーカーを遮断しない(床置型の室内ユニットを接続する場合)
冷媒の漏えいを検知できなくなります。
禁止

●室外ユニットの上に花瓶・植木鉢など水の入った容器を置かない
内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や火災の原因になることがあります。
水ぬれ禁止

●エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。
水ぬれ禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

●長期間使用しないときは、電源ブレーカーを遮断する
ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

⚠警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない
据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。
(4ページ参照)
禁止

●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。
禁止

●冷凍サイクル内に指定冷媒以外やプロパンなどの可燃性物質を入れない
冷凍サイクル内が異常高圧になり、爆発・火災・けがなどの原因になります。
指定冷媒以外が封入・混入された場合に発生した故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。
禁止

●アース工事を行う
アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アース線を接続せよ

●漏電遮断器を取り付ける
感電・火災事故防止のため、漏電遮断器の施設が義務付けられています。

●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する
専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。

⚠注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスの漏れるおそれのあるところへは設置しない
万一ガスが漏れて、室外ユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。
禁止

●長期使用などで傷んだままの据付台を使用しない
傷んだ状態で放置すると室内・室外ユニットの落下につながり、けがなどの原因になることがあります。
禁止

●ドレン配管は確実に排水するよう施工する
不備があると、屋内に水漏れし、汚れや故障の原因になることがあります。

据付けについて（必ずお読みください）

据付場所について

●**まわりに障害物のない、風通しの良いところに設置されていますか？**
●**次のような場所では使用しないでください。**
- 調理油や機械油など油成分が浮遊しているところ
- 調理室など油煙の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 工場など電圧変動の多いところ
- 車両・船舶など振動の影響を受けるところ
- 電磁波を発生する機械のあるところ
- 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところ
- カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊するところ
- シンナー・ガソリンなど揮発性引火物を取り扱うところ
- 落ち葉が堆積するところや雑草が生い茂るところ
- 小動物のすみかになるようなところ

●**テレビ・ラジオ・ステレオなどは室外ユニットや電源配線・連絡配線から1m以上離してください。**
映像が乱れたり、雑音が入ったりすることがあります。
●**積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底フレーム下部が雪で閉塞するおそれがありますので、次のような対策を実施してください。**
- 降雪・積雪・落雪で埋まらないよう、室外ユニットを架台の上に設置し、底フレームが予想される雪面より500mm以上高くなるようにする。
- 防雪フード(別売品)・雪除けの屋根および囲い(現地調達品)などを取り付ける。
- 雪が後部フィンなどにたまらないように、防雪フード(別売品)を取り付ける。
- 雪が吹きだまる場所への設置は避ける。

●**除霜運転時に出るドレンが凍結するおそれがありますので、次のような対策を実施してください。**
- 室外ユニットの底フレームの下面に氷が成長しないように、室外ユニットの底フレームが予想される雪面より十分な高さに据え付ける。(500mm以上空けることを推奨)
- 底フレーム内でドレンが凍結しないよう、ドレンパンヒーター(別売品)を使用する。
- 集中ドレンプラグ(別売品)を使用しない。(ドレンプラグやドレン管を使用すると凍結するおそれがあります。)
- ドレンが滴下して問題がある場合には、室外ユニットの下方に屋根を設けるなどの対策をする。

電気工事について

●**電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。**
お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。
●**エアコン専用の回路をご使用ですか？**
専用以外の回路を使用すると、発熱・火災・故障などの原因になります。
●**電源配線が破損した場合、交換には資格が必要です。**
配線の交換は危険を防止するため、お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

ドレン配管の排水について

●**室内ユニットのドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？**
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でごみ・ホコリなどが詰り、室内ユニットから水が漏れる原因になることがあります。
運転を停止して、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

運転音にもご配慮を

●**次のような場所を選んでいますか？**
- エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●**室外ユニットの吹出口近くに障害物がありませんか？**
風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になります。
●**使用中に異常音がする場合はお買い上げの販売店にご相談ください。**

据付け時のご注意

●冷凍サイクル内に指定冷媒以外やプロパンなどの可燃性物質を混入させないでください。
指定冷媒は室外ユニット前板に表示されていますのでご確認ください。

据付け後のご注意

●室外ユニットの吸込口・吹出口を閉鎖してしまうと、リモコンにエラーコード(E3・E4・L4・L8など)が表示される場合があります。
このような場合には、吸込口・吹出口に物を置いたり、載せたりして、閉鎖していないかご確認ください。

⚠警告

●**冷凍サイクル内に指定冷媒以外やプロパンなどの可燃性物質を入れない**
冷凍サイクル内が異常高圧になり、爆発・火災・けがなどの原因になります。
指定冷媒以外が封入・混入された場合に発生した故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

調子がおかしいときは

症状	次の処置をしてから連絡を
電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する	電源を入れないでください。
運転ボタンの作動が不確実	電源を遮断してください。

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡ください。

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
白い霧が出る	除霜運転中および除霜終了後、暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となるためです。
ドレンが出る	暖房運転中	空気中に含まれる水分が室外ユニット熱交換器で結露するためです。
	除霜運転中	暖房運転中に室外ユニット熱交換器に着いた霜が溶けるためです。
室外ユニット内部が熱い	停止中	これは機械の始動を円滑にするため、圧縮機を温めているためです。
室外ユニットの圧縮機や室外ファンが止まらない	運転停止後	油や冷媒が滞留するのを防ぐためです。約5～10分間で停止します。
室外ファンが止まる	運転中	製品の運転を最適な状態にするためにファンの回転数を制御しているためです。
音が出る	除霜開始・終了直後	冷媒の流れが止まる音、および流れが変わる音です。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。ご入用のときには弊社純正品とご指定ください。
また、機種により装着できる別売品が異なります。詳細はお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

- **防雪フード** …… 降雪地域でも雪の影響を受けにくくします。
- **防護ネット** …… 頑丈な鉄製ネットで室外ユニットの吸込口と吹出口をガードし、人が直接触れないようにします。
- **側面(背面)保護金網** …… 室外ユニットの熱交換器フィンからガードします。人が近づくおそれのある場所では、設置することを推奨します。
- **上吹出ガイド** …… 室外ユニットの吹出方向を真上に変え、人に直接吹出口からの風が当たらないようにします。
- **風向調整板** …… 風の吹出方向に障害物がある場合などに、風向を上方向または下方向に変更することができます。
- **集中ドレンプラグ** …… エアコンの排水を1ヵ所に集合させることができます。
- **転倒防止金具** …… 突風を受ける場所に据え付ける場合に室外ユニットをしっかりと基礎に固定することができます。
- **エネカット** …… 水スプレーによって冷房運転時の外気温の上昇による効率の低下を軽減させ省エネ効果を高めます。
- **ドレンパンヒーター** …… 室外ユニットの底フレーム上に組み込み、室外ユニットに吹き込む雪を溶かす熱源として使用します。
- **防風板** …… 台風やビル風などの強風が吹出側正面から連続的に吹きつける場所で、低回転時のファン逆回転を防止し、ファンを保護します。
- **内外配線2線化キット** …… 室外-室内ユニット間の連絡配線を3線式から2線式に変更することができます。

省エネ・快適機能・冷房専用設定について

「高顕熱モード」・「夜間自動静音モード」・「冷房専用設定」などの機能があります。詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

安全にお使いいただくために

●**本機は業務用エアコンです。**
室内ユニットの取扱説明書に記載の「点検周期」と「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。
●**家庭用として設計上の標準使用期間を超えて使用する場合は、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。**
設計上の標準使用期間についての詳細は室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。

自動運転について

冷房時には「オートエコレッシュ機能」により、湿度を検知しながら快適湿度に近づけます。（一部の室内ユニット接続時に限ります。）
また、リモコンで自動運転に設定すると、省エネ運転のため室内ユニットの風量が自動で変化することがあります。

製品の種類と運転音

（音響パワーレベル：PWL）

		RSRP～(E)(H)				RZRP～(E)(H)		
		80BBV　80BBT	112BB	140BB	160BB	112BB	140BB	160BB
種　　類		機能：冷暖房兼用形　凝縮器の冷却方式：空冷式　ユニット構成：分離形　送風方式：直接吹出形						
PWL運転音（dB）	冷房	67	69	72	72	72	75	76
	暖房	68	71	72	74	72	75	76

（注）●音響パワーレベル(PWL)は、JIS B 8616：2015(パッケージエアコンディショナ)の附属書Dの騒音試験方法に基づいています。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

（音圧レベル：SPL）

		RSRP～(E)(H)				RZRP～(E)(H)		
		80BBV　80BBT	112BB	140BB	160BB	112BB	140BB	160BB
SPL運転音（dB）	冷房	46	48	51	51	51	54	55
	暖房	47	51	52	54	52	55	56

（注）●音圧レベル(SPL)は、本体前方1m、高さ1.5mの位置における測定値を無響室換算したときの値です。
実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

＜使用条件＞※右表は室外ユニットの吸込口空気温度を示します。
正しく使っていただくために、右表の条件で運転してください。
右表の条件外で運転すると、安全装置が働き運転しない場合があります。

	冷房	暖房
RSRP80～160BB・RZRP112～160BB	－15～50℃	－25～21℃

移設および廃棄などについて（必ずお読みください）

●**転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、あらかじめお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。**
●**エアコンを再設置する場合は 3 の「据付けについて」を必ず確認してください。**
●**この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。**
・この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
・この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。
いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
●**製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。**

フロン排出抑制法　　第一種特定製品

(1)フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
(2)この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
右記の冷媒初期充てん量の数値は、工場出荷時の値であり、実際の冷媒量は据付状態や機種により異なります。
詳細の数値は室外ユニット前板裏面に表示されていますので確認してください。

(3)フロン類の種類・冷媒番号・地球温暖化係数(GWP)および冷媒初期充てん量

種類	冷媒番号	地球温暖化係数(GWP)	冷媒初期充てん量(kg)
HFC	R32	675	RSRP80形：3.20kg RSRP112～160形：3.35kg RZRP112～160形：3.15kg

アフターサービスと保証について

●無料修理保証期間経過後の修理について
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間について
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切後10年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

●点検と保全周期の目安、消耗部品の交換周期目安について
室内ユニット付属の取扱説明書をご覧ください。

●保守点検契約のおすすめ
エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、
通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。
また耐塩害・耐重塩害仕様の室外ユニットを使用した場合でも腐食に対して万全ではありません。機械の設置・メンテナンスについてはお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

●ご不明の場合は
アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

コンタクトセンター
営業時間：24時間365日対応いたします。

非通知設定の方は、最初に 186 をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

フリーダイヤル 0120-88-1081（全国共通フリーダイヤル）
FAXでのお問合わせは　0120-07-0881（FAX専用フリーダイヤル）
http://www.daikincc.com（ご相談対応ホームページ）

ご購入店名　　TEL　　据付年月日　　年　　月　　日

ダイキン工業株式会社
本　　社　大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル
郵便番号 530-8323
東京支社　東京都港区港南二丁目18番1号　JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機器の点検について

本製品の適性な管理とフロン類の排出抑制のために、所有されているお客様ご自身による簡易点検の実施と記録が義務付けられています。

点検頻度	点検方法	点検項目	
3か月に1回以上	お客様による「目視での外観点検」 ※点検方法詳細、注意点は下記サイトの「簡易点検の方法」をご確認ください。	室外ユニット	異常振動、異常運転音
			本体および本体周辺の油のにじみ
			本体の損傷、熱交換器の腐食・錆など
		室内ユニット	熱交換器の着霜

異常が見受けられる場合、ご不明な点がある場合は、販売店またはコンタクトセンターにお問合わせ、または下記サイトをご覧ください。

- フロン排出抑制法関連　http://www.jarac.or.jp/　（JARACホームページ）

JRA GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

JRA：（社）日本冷凍空調工業会

製品の性能を維持していただくために、また、冷媒フロン類を適切に管理していただくために、設置時および設置後の定期的な冷媒漏えい点検（保守点検などによる遠隔からの冷媒漏えいの確認などの総合的サービスも含む：いずれも有償）をお願いいたします。

上記の漏えい点検は、漏えい点検資格者が実施し、「冷媒漏えい点検記録簿（下表参照）」にその結果と、廃棄する時までのすべての点検記録が記載されますので、お客様による内容の確認とその管理（管理委託含む）をお願いいたします。

詳細につきましては、販売店またはコンタクトセンターにお問合わせ、または下記サイトをご覧ください。

- JRA GL-14について　http://www.jraia.or.jp/　（JRAIAホームページ）
- フロン漏えい点検制度について　http://www.jarac.or.jp/　（JARACホームページ）

冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）

冷媒漏えい点検・整備記録簿	年　月　日　～　年　月　日	管理番号		補足事項

管理者の	氏名・名称				設備製造者						
	住　所		系統名		設置年月日	西暦　年　月　日					
機器の所在	施設名称		TEL		使用機器	分類		型式			
	住　所		TEL			製番		用途			
運転管理責任者			TEL			圧縮機の電動機定格出力（kW）				主要冷媒のGWP値	
点検などの業者名・住所			TEL		冷媒量（kg）	合計充てん量	合計回収量	合計排出量	CO_2トン		
			TEL							R32	
			TEL		使用冷媒		初期総充てん量（kg）			675	

作業年月日	点検・整備区分	充てん量（kg）	回収戻し充てん量（kg）	回収量（kg）	点検内容	点検結果	漏えい・故障の原因	漏えい・故障箇所	修理の内容	点検・修理・回収・充てん業者名	技術者氏名	技術者№	修理困難理由	修理予定日
	出荷時初期充てん量													
	設置時追加充てん量													
計														

●この取扱説明書には、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示213号(平成21年)による表示事項を記載しております。

〈通年エネルギー消費効率(APF)〉

FIVE STAR ZEASシリーズ

室外ユニット 形式	室内ユニット 形式	台数	通年エネルギー消費効率(APF)
RSRP80BBT	FHCP80EC	1	6.4
	FHCP40EC	2	6.1
	FAP80DD	1	5.0
	FAP40DD	2	5.4
	FUP80DD	1	5.3
	FUP40DD	2	5.5
	FHP80DD	1	5.3
	FHP40DD	2	5.2
	FHGP80DD	1	4.9
	FHGP40DD	2	5.2
	FHKP80DD	1	4.9
	FHKP40DD	2	5.1
	FHBP80DD	1	5.0
	FHBP40DD	2	5.0
	FHMMP80DD	1	5.0
	FHMP80DC	1	4.6
	FVP80DD	1	4.9
	FHTP80DC	1	4.4
	FHNP40DC	2	5.2
RSRP80BBV	FHCP80EC	1	6.3
	FHCP40EC	2	6.1
	FAP80DD	1	5.0
	FAP40DD	2	5.4
	FUP80DD	1	5.3
	FUP40DD	2	5.5
	FHP80DD	1	5.3
	FHP40DD	2	5.2
	FHGP80DD	1	4.9
	FHGP40DD	2	5.2
	FHKP80DD	1	4.9
	FHKP40DD	2	5.1
	FHBP80DD	1	5.0
	FHBP40DD	2	5.0
	FHMMP80DD	1	5.0
	FHMP80DC	1	4.6
	FVP80DD	1	4.9
	FHTP80DC	1	4.4
	FHNP40DC	2	5.2
RSRP112BB	FHCP112EC	1	6.4
	FHCP56EC	2	6.1
	FAP112DD	1	5.2
	FAP56DD	2	5.2
	FUP112DD	1	5.5
	FUP63DD	2	5.6
	FHP112DD	1	5.6
	FHP56DD	2	5.4
	FHGP112DD	1	5.5
	FHGP56DD	2	5.4
	FHKP56DD	2	5.2
	FHBP112DD	1	5.3

室外ユニット 形式	室内ユニット 形式	台数	通年エネルギー消費効率(APF)
RSRP112BB	FHBP56DD	2	5.3
	FHMMP112DD	1	5.3
	FHMP112DC	1	5.2
	FHNP56DC	2	4.6
	FVP112DD	1	5.2
	FVP56DD	2	5.3
RSRP140BB	FHCP140EC	1	5.9
	FHCP71EC	2	5.9
	FAP71DD	2	5.1
	FUP140DD	1	5.1
	FUP80DD	2	5.6
	FHP140DD	1	5.3
	FHP71DD	2	5.4
	FHGP140DD	1	4.9
	FHGP71DD	2	5.1
	FHKP71DD	2	5.0
	FHBP140DD	1	5.0
	FHBP71DD	2	5.0
	FHMMP140DD	1	5.0
	FHMP140DC	1	4.9
	FHNP71DC	2	4.3
	FHTP140DC	1	4.0
	FVP140DD	1	4.9
	FVP71DD	2	5.0
RSRP160BB	FHCP160EC	1	5.7
	FHCP80EC	2	5.9
	FHCP50EC	3	6.0
	FAP80DD	2	4.8
	FAP50DD	3	5.0
	FUP80DD	2	5.4
	FUP50DD	3	5.5
	FHP160DD	1	4.9
	FHP80DD	2	5.2
	FHP50DD	3	5.2
	FHGP160DD	1	4.8
	FHGP80DD	2	4.9
	FHGP50DD	3	5.2
	FHKP80DD	2	4.8
	FHKP50DD	3	4.9
	FHBP160DD	1	4.9
	FHBP80DD	2	4.9
	FHBP50DD	3	4.9
	FHMMP160DD	1	4.9
	FHMP160DC	1	4.8
	FHTP80DC	2	4.3
	FHNP50DC	3	4.8
	FVP160DD	1	4.8
	FVP80DD	2	4.8
	FVP50DD	3	5.0

Eco ZEASシリーズ

室外ユニット 形式	室内ユニット 形式	台数	通年エネルギー消費効率(APF)
RZRP112BB	FHCP112EC	1	6.0
	FHCP56EC	2	6.0
	FAP112DD	1	5.1
	FAP56DD	2	5.1
	FUP112DD	1	5.4
	FUP63DD	2	5.5
	FHP112DD	1	5.5
	FHP56DD	2	5.3
	FHGP112DD	1	5.4
	FHGP56DD	2	5.3
	FHKP56DD	2	5.1
	FHBP112DD	1	5.1
	FHBP56DD	2	5.1
	FHMMP112DD	1	5.1
	FHMP112DC	1	5.1
	FHNP56DC	2	4.4
	FVP112DD	1	5.1
	FVP56DD	2	5.2
RZRP140BB	FHCP140EC	1	5.7
	FHCP71EC	2	5.8
	FAP71DD	2	5.0
	FUP140DD	1	5.0
	FUP80DD	2	5.5
	FHP140DD	1	5.0
	FHP71DD	2	5.3
	FHGP140DD	1	4.8
	FHGP71DD	2	5.0
	FHKP71DD	2	4.9
	FHBP140DD	1	4.8
	FHBP71DD	2	4.8
	FHMMP140DD	1	4.8
	FHMP140DC	1	4.8
	FHNP71DC	2	4.1
	FHTP140DC	1	3.8
	FVP140DD	1	4.8
	FVP71DD	2	4.9

室外ユニット 形式	室内ユニット 形式	台数	通年エネルギー消費効率(APF)
RZRP160BB	FHCP160EC	1	5.5
	FHCP80ED	2	5.5
	FHCP50EC	3	5.9
	FAP80DD	2	4.7
	FAP50DD	3	4.9
	FUP80DD	2	5.3
	FUP50DD	3	5.4
	FHP160DD	1	4.7
	FHP80DD	2	5.1
	FHP50DD	3	5.1
	FHGP160DD	1	4.7
	FHGP80DD	2	4.8
	FHGP50DD	3	5.1
	FHKP80DD	2	4.7
	FHKP50DD	3	4.8
	FHBP160DD	1	4.7
	FHBP80DD	2	4.7
	FHBP50DD	3	4.7
	FHMMP160DD	1	4.7
	FHMP160DC	1	4.7
	FHTP80DC	2	4.1
	FHNP50DC	3	4.6
	FVP160DD	1	4.7
	FVP80DD	2	4.7
	FVP50DD	3	4.9

●通年エネルギー消費効率(APF)について

APF表示は、JIS B 8616：2006(パッケージエアーコンディショナ)とJRA4048：2006(※)(パッケージエアーコンディショナの期間エネルギー消費効率)に基づいて行います。

※JRA4048：2006は、JIS B 8616：2006を実施するために(社)日本冷凍空調工業会が作成した規格です。

・APF＝期間総合負荷(能力)÷期間消費電力量

●省エネ基準について

室内ユニット形式	冷房能力(kW)	基準エネルギー消費効率(APF)	区分名
FHCP～形	3.6	6.0	ab
	4.0	5.9	
	4.5	5.9	
	5.0	5.8	
	5.6	5.8	
	7.1	5.7	

室内ユニット形式	冷房能力(kW)	基準エネルギー消費効率(APF)	区分名
FHCP～形	10.0	6.0	ac
	12.5	5.7	
	14.0	5.5	
FHCP～形以外	3.6	5.1	af
	4.0	5.0	
	4.5	5.0	

室内ユニット形式	冷房能力(kW)	基準エネルギー消費効率(APF)	区分名
FHCP～形以外	5.0	4.9	af
	5.6	4.9	
	7.1	4.8	
	10.0	5.1	ag
	12.5	4.8	
	14.0	4.7	